

美ら島だより

中部

お寄せください

● 南部報道部 0998(05)51916 FAX 0998(05)51916
● 中部支社 0998(05)3445000
● 宮古支局 0998(05)2211111
● 北支社 0998(05)3311111
● 八重山支局 0998(05)2211111



全国広報コンクールなど複数のコンクールで賞を獲得した「肝高の阿麻和利」東京公演の動画(市提供)

うるま市広報、県内外で受賞 JACEアワード、全国コン、沖縄広告賞

【うるま】うるま市はこのほど、市をアピールする広報動画や昨年8月に行われた現代版組踊「肝高の阿麻和利」東京公演などで、三つの広告やイベント顕彰の賞を獲得した。JACEイベントアワード、全国広報コンクール、沖縄広告賞で、それぞれ3位を受賞した。



市広報動画などが表彰され喜ぶ中村正人うるま市長(前右)ら関係者=9日、うるま市役所

9日、うるま市役所で開かれた記者会見で、中村正人市長は「県内外でうるまの魅力を知ってもらおうと、市役所職員が挑戦した結果」と喜んだ。

と賞と、全国3位に当たる映像部門二席に輝いた。同コンクールは公共自治体の広報を顕彰するもので、沖縄県代表として応募した。市をPRするショートドラマは、沖縄広告賞でWebフィルム単発部門とチャレンジ部門で銅賞を受賞した。

市内の中高生が出演する「肝高の阿麻和利」は、JACEイベントアワードでブロンズ賞を受賞した。同アワードは日本イベント産業振興協会(JACE)が主催する表彰制度。応募191作品の中から、政治・自治体・公的団体部門で選出された。沖縄の伝統芸能に現代要素を取り入れ、地域の歴史上の人物にスポットを当てたことが評価された。

うるま市は昨年4月に「感動」をテーマにうるまの魅力を発信する「感動産業特区」を宣言。自然、文化、芸能、特産品を、携わる人たちの思いと共に伝えることで、さまざまな分野で経済的波及効果を広げることを目指し、プロモーション活動に力を入れている。(玉城文)

「肝高の阿麻和利」東京公演のプロモーション動画は、全国広報コンクールでもBSよしも



ダイビングを体験 具志川高生徒ら

【宜野湾】県立具志川商業高校リゾート観光科1年の40人は12日、マリンスポーツ体験実習を宜野湾市で実施した=写真。市大山の宜野湾マリンスポーツ体験センターでダイビング体

験をしたほか、市真志喜のトロピカルビーチでバナナボート体験もした。マリンスポーツを通して沖縄の観光を学んでもらう狙い。

生徒らはインストラクターの指導を受けながらダイビング体験を楽しんだ。(梅田正寛)



我如古純也さん(73) 喜屋原信子さん(73) 左

ショッピングリハビリで楽しく買い物 心と体元気に

〇〇カートを使い、買い物をしながら身体機能の回復を図る「ショッピングリハビリ」が昨年11月、沖縄市で県内初めて始まった。北谷町、北中城村にも広がった。事業の運営を担う我如古純也さんは「心と体の

両方を元気にする」とアピールする。サポート事業としてさらに地域拡大を目指している。利用者である喜屋原信子さんは「体が軽くなった感じ。みんなとゆたたくもできて楽しいさ」と笑顔を見せた。(沖縄)

赤ちゃんに触れ「命」学ぶ アミークス小

【うるま】うるま市の沖縄アミークスインターナショナル小学校で3日、2年生を対象にした「いのちの授業」があった。先生は助産師や妊婦、そして赤ちゃん。市内で「助産院ばぶばぶ」を開くHISAKO(ひさこ)さんの説明と共に、児童らは命の誕生までの経緯と尊さを、赤ちゃんや妊婦と触れ合うことで学んだ。



赤ちゃんに触れながら命の温かさを感じる児童ら(左)と、うるま市のアミークス国際学園

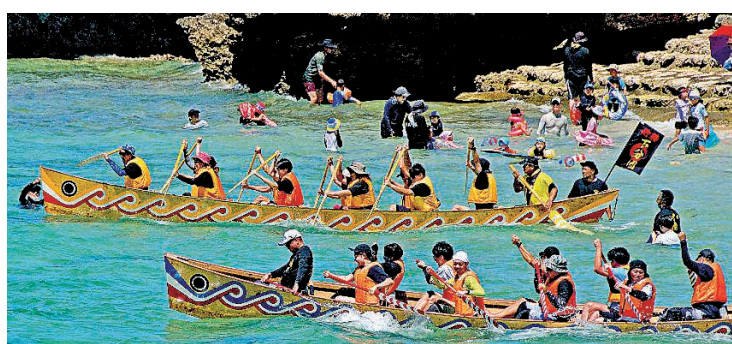
うるま 助産師、妊婦も先生に

児童らの元に、赤ちゃんや妊婦さんが代わる代わる立ち寄り、歓声と拍手が湧いた。

「ほっぺがぶにぶに」「足の裏がふわふわしてる」。笑って、ぐずって、時には泣く赤ちゃんに、児童たちは夢中だった。赤ちゃんと一緒に寝転がったり、抱っこしたりして、そのぬくもりを感じ取っていた。HISAKOさんは模型を使

いながら、出産時の赤ちゃんの動きを説明した。赤ちゃんが誰に教えられることもなく、頭の向きや姿勢を変えながら、母親の胎内から出てくることが伝えられると、児童らは驚きの声を上げた。

赤ちゃんとの触れ合いタイムの後、「いのちって何？」をテーマに話した。児童らは「神様から与えられたもの」「みん



浜から沖にこぎ出して競漕する音ながらの形で行われる伊計島ハーリー。6月30日、うるま市与那城伊計

伝統つなぎ伊計島ハーリー 住民総出、果物つかみ取りも

【伊計島=うるま】伊計島ハーリー実行委員会(実行委員長

・玉城正則自治会長)は6月30日、与那城漁協伊計支所、伊計

島総合開発と共催で伊計島ハーリー大会を開催した。昔の伊計島ハーリーは、8月のシメグの時に開催されていた。会場は伊計島の浜は、伊計島から住民が旅に出る時に船出していた場所。折り返して競漕する音ながらの形を残している。

今年、近年増えてきた外国人来場者向けに、日本語以外に英語でもアナウンスが行われた。伊計島ハーリー名物の「くだものつかみ取り競争」は決勝

前に行われ、楽しみにしていた子どもや女性が多く参加し、スイカやマンゴー、お菓子を両手いっぱい抱えて笑顔で大満足の様子だった。

玉城実行委員長は「今年も多くの皆さんの協力があった。特に伊計島出身の若い人や島に移住した皆さん、N高校、S高校の職員の方々が実行委員会として前日の草刈り、会場設置、運営スタッフ、通訳・英語放送など、積極的に大会運営に参加協力していただいていた」と話した。(高原景一通信員)



訓練では、パトカーに搭載された救命浮輪の海面への投てき方法や、海面から救助者をロープで引き上げる方法を消防職員が警察官にレクチャーした。また、港で釣り人2人が落水し、うち1人が意識不明の状態

水難救助の手順確認 宜野湾署と消防が訓練

【宜野湾】宜野湾署(上間誠署長)は4日、水難事故が発生した際の署員の対処能力向上を目的に、消防と合同での水難事故救助訓練を実施した=写真。署員や宜野湾市消防本部真志喜出張所の職員計約30人が参加し、海面の事故者を発見してから陸に引き上げるまでの流れを確認した。

で海底に沈んだとする想定訓練も実施。現場に先に到着した警察官が海面の事故者1人を救出し、続いて駆け付けた消防職員に情報を共有して、残る1人を救助するまでの流れを確認された。

実際に入水して救助の流れを確認した同署地域課の上原純生巡查(22)は「制服で入水し事故者を助けることの難しさを感じた」と振り返った。(西田悠)

27日、科学研究まつり

うるま、実験観察やA I体験 一般社団法人プロモーションうるま(中村薫代表理事)は27日、「科学の自由研究まつり」をうるま市川崎のいっしゅいっしゅ館で開催する。子ども科学おきなわが共催。高校生や大学生、企

業らが実験観察や科学工作、A I体験などを提供する。500円程度の材料費が必要となる。今年で3回目。11日に琉球新報社中部支社を訪れた安里安貴館長=写真左=は「夏休みの自由研究はこのイベントに任せてほしい」と呼びかけた。問い合わせは同館、電話098(982)4140。

この夏! 映画を楽しむならお得なチケットで!

Advertisement for Illuminations: Minions Super Adventure. Includes movie poster and showtimes.

Advertisement for Kingdom: The Final Battle. Includes movie poster and showtimes.

Advertisement for Fly Me to the Moon. Includes movie poster and showtimes.

Advertisement for Ferrarissimo. Includes movie poster and showtimes.

Advertisement for Bar Boys. Includes movie poster and showtimes.

Advertisement for 90 Years Old. Includes movie poster and showtimes.

STAR THEATERS 2024年7月24日 最新時刻表. Table with columns for cinema name, showtimes, and prices.